



献血推進に向けた研修方法に関する研究

研究分担者

瀧川 正弘（日本赤十字社 血液事業本部）平成 27 年度

松田 清功（日本赤十字社 血液事業本部）平成 28 年度

早坂 勤（日本赤十字社 血液事業本部）平成 29 年度

研究協力者

松田 清功（日本赤十字社 血液事業本部）平成 27 年度・平成 29 年度

上瀧 達也（日本赤十字社 血液事業本部）平成 27 年度

井上 慎吾（日本赤十字社 血液事業本部）平成 28 年度・平成 29 年度

里中 美晴（日本赤十字社 血液事業本部）平成 28 年度・平成 29 年度

研究要旨

平成 27 年度は、学生献血推進ボランティア（以下「学生ボランティア」という。）のスキル向上のための理想的な研修モデルの構築を目的とした。平成 28 年度から平成 29 年度については、平成 27 年度に学生ボランティアが全国の献血会場においてアンケートを実施し、その結果を踏まえ、学生献血推進協議会の認知度向上及び同世代に対しての献血啓発を行うために、「献血セミナー」を実施することになった。この企画を活用し懸案事項でもあった、PDCA サイクルをまわし組織的に実施した内容について検証等を行い、次年度に引継ぐ体制の構築を目的とした。

研究目的

平成 27 年度は学生ボランティアのスキル向上等のための研修モデルの構築、平成 28 年度から平成 29 年度にかけて学生ボランティアの自発的に行動を促し、実施した企画について組織的に PDCA サイクルをまわし、次年度に引継げる体制の構築を目的とした。

研究方法

以下の委員会及び会議等を活用した。

- ・全国学生献血推進実行委員会（3 回 / 年）
- ・全国学生献血推進代表者会議（1 回 / 年）

1. 同委員会

各ブロック（7 ブロック）の代表者（16 名）による以下の内容の検討を行う。

- (1) 全国学生献血クリスマスキャンペーンの企画、立案、検証等
- (2) 同代表者会議の議題等の企画、立案、検証等
- (3) 新企画の企画、立案、検証等
- (4) 各ブロック（7 ブロック）の献血啓発等の情報共有
- (5) その他

2. 代表者会議

各都道府県の学生ボランティア代表（1 名）と同委員会（16 名）が参加し、外部講師等によるスキルアップ等の講演、グループワーク、分科会討論、同委員会で検討した内容の承認等を行う。

3. 同世代に対しての献血セミナーを活用した組織体制の構築

前述 1 及び 2 を活用しての PDCA サイクルをまわした次年度への引継ぎ体制の構築。

研究結果

(1) 学生ボランティアのスキルアップ向上については、同委員会、同会議を活用することで、企画、立案するスキルアップが出来た。また、同会議において、外部講師等による献血推進等についての知識向上及び分科会討論等による全国規模での情報共有、意識の向上等に寄与できた。

(2) 同世代に対しての献血セミナーを活用した組織体制の構築は、PDCA をまわせられる書類の整備等ができた。(図 1～図 6) また、それを活用し企画、立案、検証及び改善を出来る組織的な体制の構築ができた。(図 7) また、献血セミナー実績は、平成 28 年度累計 94 回 (2,943 人)、平成 29 年度 59 回 (1,964 人) (平成 29 年 12 月 31 日末現在) であった。(図 8)

(参考) 平成 28 年度献血セミナーについての意見等 (図 9)

考察

- (1) 実施内容を組織的に検討出来るようになった。
- (2) 実行するにあたり、組織的に決定出来るようになった。
- (3) 実施後に組織的に検証・評価出来るようになった。
- (4) (3) を踏まえ、実施内容を改善し、より効果的かつ効率的に組織的に改善出来るようになった。

結論

学生ボランティアのスキルアップ等に関する研修体制は構築できた。また、同世代への献血セミナーを学生ボランティア自身が主体となり実施したことで、企画、立案、検証及び改善を組織的に行え、次年度に引き継げる体制が構築できた。今後は、同世代への献血セミナー以外に学生ボランティアの自発性を促し、新たな企画を試みられるように日本赤十字社として支援していきたい。

健康危険情報

該当なし

研究発表

該当なし

知的財産権の出願・取得状況（予定を含む）

該当なし



図1
スライド構成
(統一スライド)

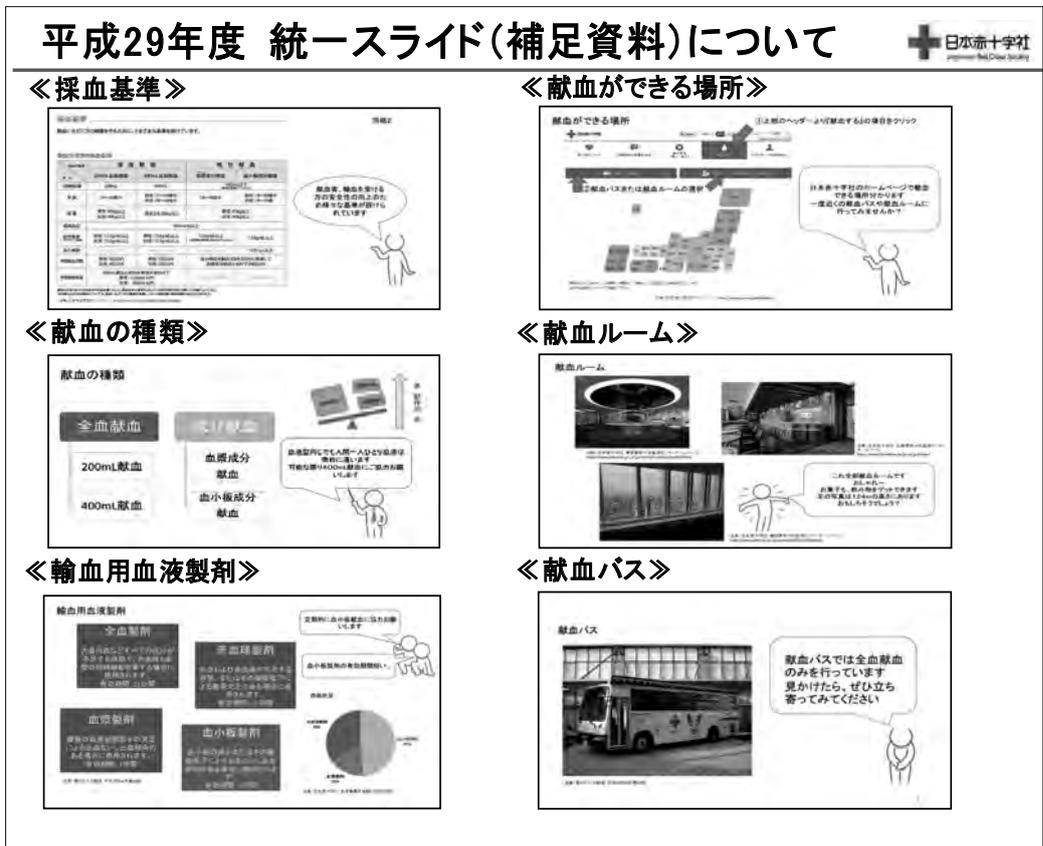
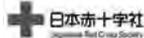


図2

平成29年度学生献血推進ボランティアによる献血セミナー実施計画書				
(各ブロック血液センター用)				
〇〇ブロック血液センター 報告者職・氏名				
(参考)				
赤十字血液センター名	① 平成29年度 計画数	② 平成28年度 実施数	③ (①-②)	平成29年4 ~10月まで の期間に実 施した場 合は実施回 数を記載す ること。
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	0

※行数は適宜追加すること。

図 3



平成29年度 受講者アンケート内容について

献血セミナー アンケート用紙 (案)

別紙 4

各団体で自由に高いまつ文を添定してください。

Q1. あなたの性別を以下から選択してください。

① 男性 ② 女性

Q2. あなたが認識するものを選択してください。

① 大学生 ② その他 ()

Q3. 献血の経験はありますか。

① 経験あり ② 経験なし

Q4. 『学生献血推進協議会』という団体を知っていましたか。

① 知っていた ② 知らなかった

Q5. 今回の献血セミナーはいいかでしたか？

以下の□から○で選択して、その理由をご記入ください。

① 良かった。 【 <理由> 】

② 普通

③ 良くなかった。

Q6. 今回の献血セミナーを受けて、今後実際に献血に行こうと思いませんか？

以下の4つから○で選択して、その理由をご記入ください。

① 自ら献血場所 (献血バスや献血ルームなど) に赴いてみたい。

② 献血ができる機会があれば献血してみたい。

③ 献血ができる機会があっても献血するかわからない。

④ 献血ができる機会があっても献血はしない。

【 <理由> 】

表面に続きます→

別紙 4

Q7. 今回のセミナーの感想などございましたらご自由にご記入下さい。

回答へのご協力ありがとうございました。

昨年度との比較をするために、内容は変更しない。ただし、追加項目は可とする。

表面に続きます→

図 4



平成29年度実施報告書(抜粋)

赤十字血液センター名	No.	実施日			実施時間	区分① 実施場所		セミナーの実施内容			備考	区分② 主たる対象者			区分③ 所管者		対象者及び関係者合計	
		年	月	日		詳細	詳細を記入	映像の種類	講師	人数		学年	人数内訳(学年ごとに記載)	人数				
山形県赤十字血液センター	1	2017	11	4,5	各回5分	大学・短大	国立山形大学農学部	講演、映像放映	ショートバージョン	その他※備考に詳細記入	宇都宮病院中、山形大学農学部献血推進サークルの2名がブース実演者に対し約5分ほどのミニセミナーを行った	大学生	38	全学年		その他	26	64
岩手県赤十字血液センター	2	2017	11	17	15分	大学・短大	岩手県立大学	講演		その他※備考に詳細記入	学生ボランティア	大学生	8	1,2,3年生	1年生3人,2年生3人,3年生2人	その他	0	8
岩手県赤十字血液センター	3	2017	11	24	15分	大学・短大	国立岩手大学	講演		その他※備考に詳細記入	学生ボランティア	大学生	15	1,2,3年生	1年生7人,2年生5人,3年生3人	その他	0	15
青森県赤十字血液センター	4	2017	11	25	45分	赤十字施設	青森県赤十字血液センター	講演、映像放映	その他	その他※備考に詳細記入	青森県学生献血推進連絡会会長	大学生	8	全学年	1年生1人,2年生3人,3年生3人,4年生1人	その他	1	9
山形県赤十字血液センター	5	2017	12	16	30分	その他施設	サークル総会会場	講演		その他※備考に詳細記入	山形大学ボランティアサークル「チーム魂」の総会にてメンバーから同サークル員に対し発表した。	大学生	60	全学年		その他	0	60
秋田県赤十字血液センター	6	2017	12	17	30分	その他施設	秋田県立大学	講演		担当部門係長	総合学習	大学生	20	1~3年生	大学生1~3年15名と高校生	教員	1	21

必要最低限に必要な情報のみ報告する報告書に変更した。

平成30年度実施に向けて

「良かった点」、「反省点」、「スライドについて」、「次回に向けて」、「その他特記事項」を各ブロックにおいて取りまとめを行い、平成30年3月開催「第3回全国学生献血推進実行委員会」において、全国で実施した内容について評価し、平成30年度実施に向けて改善を行う予定である。

※ PDCAサイクルをまわせる体制が構築できた。

図 5

献血セミナー受講カード

献血セミナーを受講した学生に「献血セミナー受講カード」を配付し、献血時に受付職員に提出いただくことを考えた。



図 6

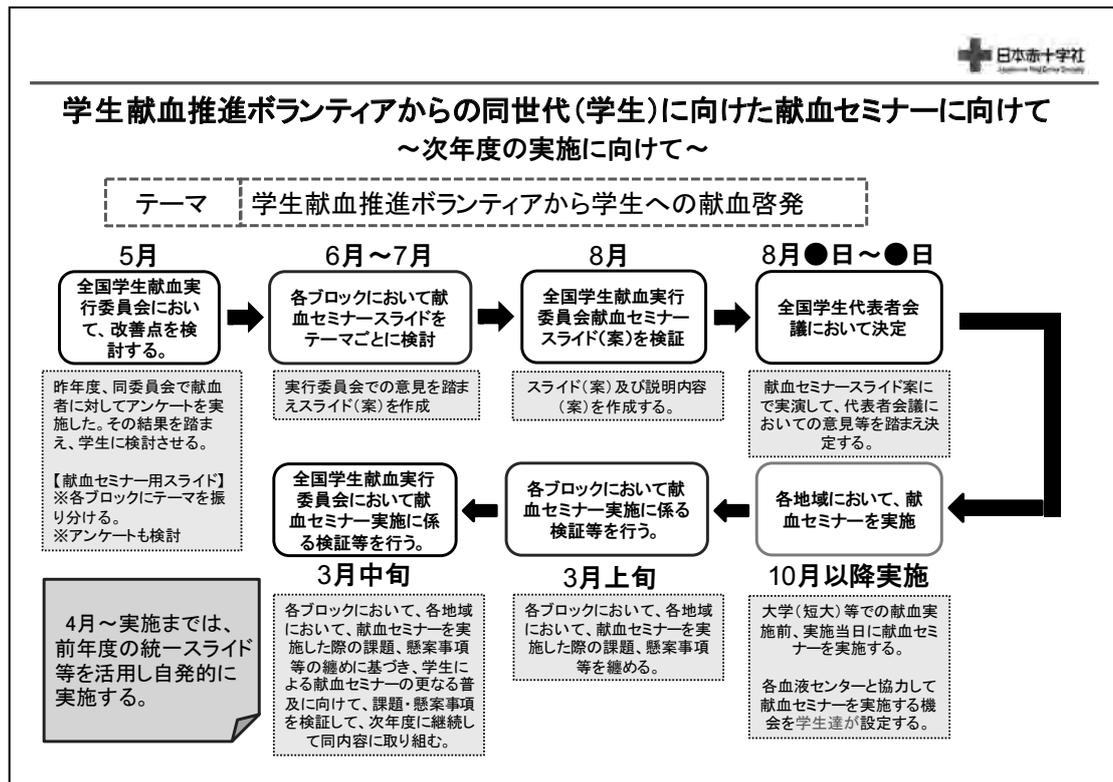


図 7

平成29年度の実施報告(中間報告)

内容	平成29年度※	平成28年度
実施時期	平成29年11月1日～平成30年2月28日	平成29年10月中旬～平成29年2月28日
対象者	原則、大学生、短大生、専門学校生	原則、大学生、短大生
実施状況	-	-
計画数	149回	110回
実施回数	59回	94回
受講人数	1,964人	2,943人
統一資料	-	-
統一スライド	27枚	29枚
補足資料	有	無
動画	選択制	選択制
アンケート	有	有
受講カード	有	無
実施報告書	有(1種類)	有(2種類)

※平成29年度における「実施回数」及び「受講人数」については、平成29年12月31日現在の速報値であること。
※赤字は、大きく変更した箇所であること。

図 8



平成28年度実施した中での改善点 (事前提出)

1 スライドの構成等について

- ①書体、文字の大きさの統一感がない。
- ②アニメーションに統一感がない。
- ③グラフの見せ方を検討する必要がある。
- ④スライドの統一感がない。
- ⑤学生らしいスライドの方が受入れやすい。

2 献血セミナーの内容

- ①献血セミナーが単調である。(アンケート結果)
➡献血クイズのスライド追加
- ②地域の献血ルームの紹介の併せて行う。

図9